

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	廿日市市立大野東中学校	校長	田浦 由紀夫	担当者名	中次 伸彦
-----	-------------	----	--------	------	-------

取組事例名 『生徒が抱える課題に応じた段階的支援の充実』

生徒指導に係る連携体制の確立	○	カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	---	----------------------------------	----------------

取組における育てたい資質・能力

- ・様々な課題に柔軟に対応するためのレジリエンス
- ・自他を認め，自己有用感を育むことで，集団生活や社会生活を円滑に進めていける力

取組のねらい

生徒の課題や状況に応じて，効果的に不登校生徒及び不登校傾向生徒を指導・支援することができるようにするため。また，集団生活への難しさ等から学級へ行くことができない生徒の一時的な居場所をつくることで，不登校未然防止に取り組むための校内適応指導教室の充実。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

1 校内適応指導教室の整備

従来からある「ふれあいルーム」は，不登校及び不登校傾向の生徒が学級復帰のための教室として設置している。近年増えている集団生活になじめない生徒などについて，学校とのつながりを途切れなくするために，校内の居場所づくりとして，「SSR（校内適応指導教室）」を新たに設置した。



ふれあいルームについては，面談を設けての入室としており，SSRは利用希望者がいればいつでも対応できるようにしている。個別の学習や活動に応じて，両室をどちらも活用できるよう工夫している。

利用生徒の指導・支援については，子どもつながり支援員が寄り添っているが，時間割にSSR担当を組み込むことで，いつ，誰が登校してきても教職員が対応できるように体制を整えている。

登校の際には，パズルやブロック，塗り絵などで脳を活性化させたり，SCやSSWとの面談を設定したりしている。また，学習の遅れを気にする生徒も多いので個別の学習にも励んでいる。

2 校内研修の充実

専門的な知識や手法を学ぶとともに，日々の教育実践に活かすことができるような体験型の研修に取り組んだ。具体的には，サテライト研修「レジリエンス育成」やSC校内研修「心に寄り添うカウンセリング・マインド」を実施した。

取組の成果と課題

○校内適応指導教室利用生徒は，昨年度2名から今年度11名と増加した。SSRを設置したことで，一時的な居場所ができ，教室に行くことはできないが，SSRがあるから登校できる生徒もいる。

○生徒の学校生活アンケートにおいては，「学校の中に，ほっとできる時（場所）がある」の肯定的回答は79%（1学期）から86%（3学期）に上がった。

○不登校生徒においては，昨年度16名から今年度18名（1月末現在）と増加した。内新規不登校生徒は7名である。原因としては，生活習慣の乱れやHSCの傾向が顕著になったことが考えられる。